

54テーマ 課題研究の成果

バリアフリーや
教育、環境など
長井高、校内発表会

長井市の長井高（青柳敦子校長）の2年生が取り組む「課題研究」校内発表会が10日、同校で開かれた。生徒172人はバリアフリーや教育、環境改善などに関する計54のテーマごとにグループをつくり、検証結果をそれぞれ発表した。

各グループは仮説に基づき調査や考察をまとめたポスターや写真などを提示しながら、5分間の持ち時間で発表。聞き手の生徒らとの質疑応答も行った。

探究コースの16グループは、タンパク質危機に備え

た昆虫食の普及や、トレーニングカードの価格変動を利用した子ども向け経済教育での活用提案、ライトノベルをきっかけとした読書推進の試みなど幅広いテーマが並んだ。一般コースの38グループでは、世界各国の文化の違いに理解を深めるためボードゲームを創作した研究もあった。

大学教員や企業経営者など外部審査員9人と教員が審査を行い、県探究型学習課題研究発表会（12月17日）に出場する代表6グループを決めた。研究テーマは次

多様なテーマで検証結果を
発表する生徒たち
＝長井市・長井高



の通り。

◇探究コース▽最優秀Ⅱハロー法による温泉の抗菌効果の比較▽優秀Ⅱ食事で筋肉をつけるにはどうしたらよいか、学校フ

アンドで創る未来、学生がSNSにおける正しいネットリテラシーを身につけるためには、子ども食堂（地域食堂）の普及◇一般コース▽最優秀Ⅱおにぎり

は社会を変える

（石井剛）